

飯能新校基本計画検討委員会（第1回）議事録

日 時 令和2年1月21日（火）15：50～17：20

場 所 飯能高校会議室

出席委員 加藤委員長・矢島副委員長・秋田副委員長・菱沼委員・細谷委員
清水（繁）委員・清水（直）委員・三上委員・青田委員・内山委員
竹内委員・筒井委員・小川委員・清水（武）委員・三澤委員
渡部委員・大塚委員・荒井委員・中村委員・深井委員

協 議

- 1 「飯能新校基本計画」の検討について説明
- 2 「飯能新校基本計画検討（案）」について

○主な意見・質問・回答

	主な意見・質問・回答
1	飯能の地域性、現状を考え、「進学を重視する学校」としての、掲げる目標は「中堅大学を目指し、なおかつ就職など生徒のニーズに応じたものにしていく」というのはどうか。
2	「進学を重視した学校」というからには、進学に力を入れて指導していくことを前面に出した方がよい。ただし、生徒一人一人の進路のニーズには対応していくという形が良いのではないか。
3	スポーツコースについては、これまで役割を果たし、成果もあげてきたという経緯もあるので、何も残さないということとはできない。新校では単位制を導入して、その中でスポーツ関連の授業が受けられるという形で、伝統を残してはどうか。
4	今回、新しい学校を作るということは、学校を発展させていくという観点では、「大きなチャンス」である。今回の再編整備は、先生方や地域の方、子供達や保護者から求められている学校に大きく舵を切る、そこに向かって変化を加えるという意味で大きなチャンスである。 変化を加えることの一つとして、先程議論した、進学指導に重点を置いてやっていこうという考えがあると同時に、探究的な学びの中で、よりレベルの高い課題解決を考えていくという学習もコンセプトとしていきたい。
5	進学というと、大学だけでなく、専門学校もある。「大学進学はさせたい」というのであれば、「新校は大学に進学する生徒を集める」という文章にした方がよい。

6	さすがに「大学進学」だけに特化するというのは、難しいのではないかと。生徒が集まらなると意味がない。看護系や幼児教育系など様々な進学先に対応するという意味で「進学」という表現でとどめておくべきではないか。
7	飯能新校もカリキュラムを考えると、単位制がベストだと思う。しかし現在の飯能高校では定時制の活動場所も含めて教室が不足している。また、校舎も古くなっている。単位制を取り入れるということで、予算面、人事面等のサポートをお願いしたい。
8	単位制でいろいろな科目が選択できることはよい。飯能高校の施設は定時制が利用する部分もあり、グループ活動などを行うには、教室の数が足りないことが実態である。 ハード面を何とかしてほしい。
9	単位制の導入にあたりメリット・デメリットの両面がある。導入については、今後も情報収集して判断していく必要がある。
10	現在の生徒の実態から、新校の生徒指導を考える必要はない。新しい学校にどんな生徒を入学させたいのかを考えて、それにマッチする生徒指導を検討すべきである。
11	インターンシップを学校全体で実施することは非常に大変である。就職希望者への対応は必要だが、新校では、その分の労力を進学指導に向けた方がよいのではないかと。
12	本日の資料だけを見ると新校は本当に良い学校になると思う。しかし実際は良い生徒をどれだけ集められるかということである。生徒に選ばれる学校になるには、施設面の充実が必要である。 また、総合的な探究については現在の教員だけでは無理である。飯能新校を埼玉県モデル校にするのであれば、総合的な探究の時間に専門の教師を配置するなどが必要である。